

学校の魅力化に向けた地域と連携した学校教育活動の充実



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
北海道 名寄高等学校	名寄市内高等学校魅力化推進委員会 令和5年4月1日 設置予定	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 0名	-



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

地域経済分析システム(RESAS)によると、名寄市の年少人口が3018人(2020年)から1876人(2040年)に減少する中、本市にある高等学校2校を令和5年度に1校に統合することにより、社会に開かれた教育課程を実現し、地域とともに生徒を育てていく、地域にとってなくてはならない高等学校として、再編する必要があった。

目標や目指す姿(学校)

地域唯一の高校として、地域の教育資源を活用し、地域の未来を創っていく人材の育成

目標や目指す姿(地域)

高等学校と連携した教育活動を通じ、地域課題の解決に向けた取組の充実と人材の育成



名寄市内高等学校魅力化推進委員会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学校評議員 | <input type="checkbox"/> PTA役員 |
| <input type="checkbox"/> 高等学校教諭 | <input type="checkbox"/> 学識経験者 |
| <input type="checkbox"/> 大学教授 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> PTA連合会 | など、計 14 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 商工会議所青年部 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

推進委員会は、名寄市内の名寄高等学校・名寄産業高等学校と連携し、両高等学校の統合にあたり、地域から魅力ある高等学校として認められるよう、地域での魅力の検討及び情報発信することを目的としている。また、推進委員会のなかには名寄市内高等学校魅力化コーディネーターが配置されており、両高等学校の課題や統合後の魅力ある高校の在り方について調査・研究を行うとともに、高等学校統合に関する課題解決や魅力化に向け、関係機関との連絡調整等を積極的に取り組んでいる。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

高校の統合に向けた統合推進委員会、名寄市高等学校魅力化推進委員会及び両校生徒会執行部による合同拡大会議を4回開催している。地域の声を今後の学校づくりに活かすため、地域住民の参画を得て、教員、生徒とともに「学校の魅力化」に向けた協議を行った。協議では、校長や魅力化コーディネーターがファシリテーター役を担い、協議を進めた。



合同拡大会議の様子

地域学校協働活動

高校の魅力化に向け、地域と連携した教育活動を実施した。総合的な探究の時間「探究之行」では、地域のキーパーソン(写真は名寄市長)を招聘し、地域課題をテーマとした講演会を開催した。講演の後、生徒が地域課題の解決に向けた探究学習を行うとともに、ボランティア活動等の地域活動への参画など、教育活動の充実を図った。



探究之行Ⅱの様子

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

高校の統合に向けた統合推進委員会と名寄市と連携した高校魅力化協議会を並行して推進することで、校内体制や地域連携の体制を一体的に整備することができ、学校と地域が同じ目線で高校の魅力化に向けた連携体制を共有・強化することができた。名寄市の魅力化コーディネーターを活用することで、学校と地域の連携体制が円滑に整備された。魅力化コーディネーターが地域と学校をつなぐ窓口となることで、地域学校協働活動が充実し、学校の魅力化につながっている。

取組

成果・効果

- ◆統合推進委員会や学校評議員の取組を整理し、令和5年度からの学校運営協議会の設置に向けた検討を行うことで、今後の学校運営協議会の在り方を明確にすることができた。
- ◆名寄市や名寄市教育委員会との連携により、地域資源を活用した学校設定科目の開設などの支援を得られており、学校の教育活動の充実が図られている。
- ◆魅力化コーディネーターが、関係機関との調整役を担うことで、「総合的な探究の時間」や学校行事における講演等で、外部講師を円滑に選定することができた。
- ◆地域の社会人等を活用した教育活動を通して、生徒の地域創生に対する当事者意識を醸成することができた。
- ◆魅力化コーディネーターは、SNS等様々な媒体を活用し、校内の教育活動を地域に発信することで、地域に欠かせない学校として地域住民の認知度を向上させている。
- ◆国際交流や地域行事への参画など、地域と連携した教育活動の充実を図り、生徒の地域理解を深めることで、地域に愛着を持ち貢献しようとする生徒を育成することができている。
- ◆名寄市立大学と連携した取組である科目等履修生について、実施に向けた調整の進展に伴い、参加を希望する在校生や地元中学生の興味・関心や学習意欲等が向上しており、学校の魅力化に資する取組となっている。